

第4回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員（13名）

有賀 利恵子委員、内海 一嘉委員、太田 博久委員、木下 敏彦委員、小池 修次委員、
薩摩 建委員、武井 幸子委員、竹澤 幸男委員、中山 昇委員、西澤 賢委員、
新田 隆史委員、藤森 すず子委員、横内 文雄委員

（※欠席者・・・太田 深穂委員、小林 妙子委員、佐藤 一樹委員、濱 章義委員、
林 賢司委員、御子柴 健朗委員 計6名）

（事務局）

企画政策部長	岡本 典幸
市民環境部長	城田 守
健康福祉部長	帯川 豊博
産業振興部長	木下 稔
教育部長	白上 淳
教育担当参事	両角 秀孝
岡谷市民病院事務部長	名取 浩
企画課長	仲田 健二
医療保険課長	小松 久志
社会福祉課長	矢崎 征司
ブランド推進室長	日岐 充利
学びの創生・連携支援室長	濱 敦志
生涯学習課長	伊藤 恵
スポーツ振興課長	小松 隆広
企画課主幹	芳沢 幸祐
同主査	藤森 大悟

第4回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和5年11月14日（火）
午前9時30分～午前11時30分
市役所 9階 大会議室

1 開会

○市民憲章唱和

2 会長あいさつ

おはようございます。ご多忙の中、また大変な冷え込みの中、この会議にご出席いただきましてありがとうございます。

我が家のもみじはのんびりしております、もみじ祭りが終わったというのに、まだ紅葉しないと思ったら、庭では4cmを超える霜柱が立っていました。

本当に陽気の変化が激しいです。私の朝の血圧は上がりました。

そんなことで皆さん、お互いに健康には、気を付けていきたいと思っていますのでよろしくをお願いします。

さて、本日から基本計画の審議に入るということでございます。

ぜひ活発な意見交換をしていただいて、有意義な審議会になるようにしてまいりたいと思いますので、よろしくご協力のほどをお願いします。

本日はよろしくをお願いします。

3 会議事項

第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案）について

（1）基本目標：ともに支えあい、健やかに暮らせるまち

（2）基本目標：未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち

副会長（司会）	それでは、これより次第3の会議事項に入ります。 ここからの進行は会長にお願いいたします。
会長	それでは、議事を進行させていただきます。 本日の会議事項は、第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案）についてです。 審議は、基本目標ごとに区切って行います。 （1）基本目標：ともに支えあい、健やかに暮らせるまちについて事務局より説明をお願いします。
仲田企画課長	（1）基本目標：ともに支えあい、健やかに暮らせるまち 資料：第5次岡谷市総合計画後期基本計画（案） （資料に基づき、P65～P85まで説明）
会長	ただいまの説明について、質問・意見ありましたらお願いします。
委員	67ページの主な取組で、まさに基本計画の場合はここまでだと思いま

	<p>すけれども、文言の中に本当はもう少し具体的なものがあればいいと思っています。</p> <p>例えば、一番上に結婚に対する支援という項目がありまして、「結婚の希望を叶えるために」というような新しい言葉を出していただいていますけれども、少子化少子化と言っている中で、そもそも結婚をしない人がすごく増えています。</p> <p>近所で、あの家の息子がまだ結婚していないとか、何しろ結婚するというのが結構大変な時代になっていると思います。</p> <p>兄弟衆で話した時に、我々がどのように結婚できたかという、世話人がいました。私の兄弟はほとんどその世話人にいろいろ糸口を作ってもらって、結婚ができました。特に私のように口下手で、なかなか女の人を口説けないというような場合、誰かが手を貸してやるというようなことが必要です。</p> <p>前期では「出会いの場の創出」という良い言葉がありましたが、後期では取られております。</p> <p>ということは、おせっかいの人が出てこなければいけないのではないかと思います。そうすることで、もしかしたら1人でも2人でも結婚するようなカップルができるのかなと思いました。</p> <p>気持ちが希薄になっている世の中なものですから、なかなか難しいと思いますけれども、それでも意識して、親戚の人に紹介するとか、そういったような機運を一つ持っていくために、前期にある出会いの場をみんなで作っていきこうではないかというような言葉があった方がいいと思いました。基本計画の段階ですけれども、その程度の言葉があってもいいのではないかと感じました。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>この結婚という部分は、なかなか難しい部分がありますので、今委員さんがおっしゃっていただいたような部分についても少し検討させていただければと思いますのでお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>よろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>2点あります。</p> <p>まず、66ページですけれども、現状と課題の3番目で、「児童虐待、子どもの貧困、ヤングケアラーなど、社会的養護が必要な子どもや、発達に特性があり支援が必要な子どもが増加しているため」と書いてありますが、具体的にその把握している数値、どれくらいの数で増加しているというような把握をされているのかというところが気になりました。結構増加しているのであれば、成果指標に、取組によりその人数を減らすみたいなことにできないのかと思ったのが1点目です。</p> <p>2点目ですけれども、74ページの障がい者福祉の推進のところ、資料・データを見ると、精神障がいの方が平成30年度から令和4年度で151人増えていて、151人というのはプラス30%ぐらい増えていると読み取れます。</p> <p>いわゆる人口が減少している中で、コロナ禍もあったのかもしれないですが、何でこんなに増えてしまっているのだろうというのと、令和4年度の精神障がい者数624名という数字は、この市の人口の1%を超えていますし、知的障がいの方も平成30年度は404名、令和4年度は443</p>

<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>名で、この4年で10%ぐらい増えているというように読み取れます。</p> <p>全体のパイが減る中で、何でこんなに増えてしまっているのだろうかというのが疑問に思っ、成果指標を見ると、就労移行支援事業所の利用者数というところだけが述べられていて、19名を30名に増やします、プラス11人ですと書いてあるのですが、この資料・データのいわゆる精神障がいとか知的障がいの方がこんなにぐぐっと増える中で、成果指標がこの就労支援で11人増やすというだけでいいのかと少し疑問に思いました。</p> <p>まず66ページの児童虐待とか子どもの貧困の部分でありますけれども、市でも子ども家庭総合支援事業の家庭相談員等の相談の中で児童虐待など、それぞれの相談内容を分析したデータを取っております。</p> <p>この中で児童虐待、擁護に関する部分の件数が年々増加しているという状況をとらえており、平成30年度に児童虐待の相談件数が118件だったものが、令和4年度には174件と大幅に増加しているような状況が実際にあります。</p> <p>本年度分析し、対応として取り組む中で、家庭児童相談員、心理相談員、担当の支援員を、専門的な関わりによってなるべく早期に相談につなげていけるような体制を支援拠点事業の中で取り組んでいきたいとあります。</p> <p>データとしてここに載せるのがいいのかどうかというところは、課題かなというように考えておりますけれども、そのような分析もしております、個別計画である子ども・若者育成支援計画とか、子ども・子育て支援事業計画の中でも、若干その辺の部分も触れて、分析をして、体制を整えるような取組をしているという状況でありますので、ご理解いただければと思います。</p>
<p>矢崎社会福祉課長</p>	<p>74ページの部分についてですけれども、精神障がいの方の増加の理由とすると、全国的にはもっと伸び率が高い状況にありまして、身体障がいの方が全国的には横ばい、精神障がいは倍増に近い状況で、知的障がいはやや増というような状況が全国的な傾向にあります。</p> <p>岡谷市につきましても、割合は違いますが、同じ傾向にありまして、この理由の一つとすると、やはり早期発見、早期療育という部分と、最近発達障がいですとか、ADHDのような障がいといえますか疾病の認知力が高まったというところ、親御さんや周りの支援機関の発達というところもあって、昔だったら見逃されていた部分が、最近は発見されやすくなって、その後の支援に結びついているというところが大きい要因なのかなと考えております。</p> <p>成果指標につきましては、就労移行支援の対象になる方の多くが、知的障がいや精神障がいを抱えた方が今大半でして、身体障がいの方がこういう就労の移行準備をしながらというケースよりは、ほとんどが精神・知的障がいの方になっていきますので、そういった意味で考えますと、今の指標でも十分賄えているのかなというように考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>副会長</p>	<p>こだわって申し訳ないですけども、81ページで健康寿命の表記がされております。このデータの算出方法が3つあるということなので、介護保険データを活用とか、少し小さい字でこの表の下のところに書いたらど</p>

<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>うかと思えますがいかがでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>健康増進計画の中でもご指摘いただいた部分がありまして、今副会長さんからお話いただいたように、健康増進計画でも具体的な健康寿命という定義の最初の基準を記載しておりますので、ここのところでも参考に記載をしていくような方向で調整したいと思いますけれどもよろしいでしょうか。</p>
<p>副会長</p>	<p>よろしく申し上げます。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたら申し上げます。</p>
<p>委員</p>	<p>72ページの高齢者福祉の資料・データの中に高齢化率35%と出ています。</p> <p>その下にたまたま75歳という切り口がありますが、今後の高齢者福祉を語るのに、65歳で切ってはとてもじゃないけれども、財政的にも駄目だし、人の問題も駄目です。</p> <p>国の方針がどうかわかりませんが、地域福祉をやっていくには総合事業の関係もあるけれど、かなり地域に任せなければいけないという部分が出てきます。</p> <p>たまたま私がもう後期高齢者ですが、自分ではまだ若いと思っております。75歳でそういう状況だから、65歳という概念はまだ全国的にはありますけれども、岡谷市のとらえ方をもう少しきめ細かく、例えば75歳で切るとか、80歳の状況はどうだとか、そういったような分析を今後の問題として、岡谷市は高齢者というのはいま80歳以上だというぐらいの方針を出してもいいのではないかと、そういう時期に来ているのではないかと、そういった議論をしていく時期ではないかと思えます。</p> <p>だから、昔で言う国民年金、厚生年金ができて、65歳だなんて言っていたけれども、もう70歳過ぎてもまだ働いている人がいます。</p> <p>そういった現状をもう1回見ながら、もう一歩踏み込んで、地域福祉とか高齢者福祉に取り組んでいただければと思います。</p> <p>何が言いたいかという、ここに書いてあることはもうこのとおりですが、地域福祉も言葉で言えば、地域サポートセンターを使ってやるとか、その中でネットワーク会議があるとかの先に、もう一つ、その充実をしていかなければいけないと思えます。簡単に文章で、サポートセンターがありますと書いてあっても、サポートセンターの今の状況ということをもう分析していると思うので、それがどの程度機能するかどうかということが大切です。</p> <p>もうそろそろ、そういった既存のものを超えた施策を打っていかないと、高齢者福祉、私が死ぬまで何とかしてもらいたいものですから、もう15年、そういった新しい仕組みみたいなことも考えているという項目が欲しいなというように考えました。</p> <p>読んでいくと、このとおりなので、基本計画の段階ではもうこの文言でいいと思えますが、そこら辺にもし付け加えるなら、重層的なといういろいろな形で、いろいろな機関が協力してということだと思いますけれども、分析もそれぞれの年齢をもう少し細かく、例えば75で切った場合は、高齢化率が1/5、20%ぐらいになります。5人に1人が75歳ぐらいです。そうすると、もしかしたら少し気持ちが落ち着くかなと思えます。</p>

<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>もう一つ言えば、80歳で切れば資金を投入する部分がもう少し明確になっていくのではないかと思います。</p> <p>そういったようなことで、ぜひ今どういうようにしろというわけではないのですけれど、一番の気持ちは65歳というものではなくて、岡谷市はもう75歳とか80歳でそういった取組をしていきますというようなことができればいいかなと思っています。</p> <p>ありがとうございます。貴重なご意見をいただいたと認識しております。</p> <p>今言われたように、今65歳まで元気で働いていて、70歳まで働いている方もまだまだたくさんいらっしゃいまして、介護の認定の分析でもそれぞれの年齢ごと、10歳ごと区切った中で、介護、要介護とか要支援の認定者数とかも分析をしているところがありますので、そういったデータをしっかり分析して、それぞれの年代に合わせた支援や取組がどのようにできるかということも、改めて分析していく必要があるというように認識しております。</p> <p>また、高齢者福祉計画の中でも、そのようなところも含めて、取組の中でしっかり分析して反映できるような形で、今後検討してまいりたいと考えております。ありがとうございます。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>私も前回65歳以上で区切るだけでいいのかという質問をさせていただきました。</p> <p>その時に、前期・後期と分けて考えているということでしたが、それがこのKPIには反映されないということではよろしいでしょうか。</p> <p>あと、成果目標の目標値が19.77%となっております。この数値について、他のKPIは区切りのいい数値になっておりますが、ここだけ77という数字になっています。前期が16.35%で高齢者福祉計画の目標数値であると書いてあったので、そうなのかと思いますけれども、この19.77%がどこから出た数字なのか教えていただきたいと思えます。</p>
<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>65才以上が前期、75歳以上が後期で分かれておりますが、この要介護認定者数は全体的な数字でとらえているもので、その区分ができないという状況ですので、またどんなことができるかという分析をしてみたいと思います。ありがとうございます。</p> <p>それから、終了時の目標値の19.77%ですけれども、広域連合での1号被保険者の介護認定率の推計でいきますと、令和10年度に20.8%というように想定がされていて、公表されている数字であります。</p> <p>このままいってしまうと、20.8%まで上がってしまうのですけれども、岡谷市の様々な取組の成果を見据えて、推計値より若干でも抑えたいという思いの中で、5%の削減で19.77%になりますので、その数字に何とか抑えるような形で、目標設定をしたという内容になっております。</p> <p>前回は介護の推計値でいきますと16.35%になっており、そのまま目標値としましたが、今回は色々な介護予防サービスなどの取組がありま</p>

	<p>すので、そういった成果の部分を見ていきたいということで目標値を設定しております。よろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。 前期はコメントが書かれておりましたので、今回もそういったところを書いておけばわかりやすいのかなと思いました。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>67ページの結婚に対する支援で教えていただきたいと思います。 4行目に結婚生活のスタートに関わる経済的な負担の軽減を図ることがありまして、こちらについては家賃の補助ですとかを、広報でもPRされていると認識しておりますけれど、こちらの負担の軽減策について、はっきりでなくていいですが、他市町村と比べて岡谷市の充実度というのはどんなものかということをお聞きできたいと思います。 また、市外の居住者向けのPRについて、どのようなことをされているのか、またどんな方向で考えているかということをお聞きできればと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>市では移住政策ということで今取り組んでいます。その中で特に関東圏とか中京圏、関西圏がやはり多いものですから、そちらの方の移住イベントなどに参加しまして、岡谷市の移住のための施策ということで、PRをしているところであります。 そうした中で、結婚の支援という部分であったり、移住した時の住宅、仕事などといったところについても、岡谷市の状況を報告させていただいているという状況であります。</p>
<p>帯川健康福祉部長</p>	<p>住居費の補助の関係ですけれども、基本的な部分は国のフレームに基づいて設定しておりますので、他市町村も同様な形での取組はしていると認識しております。 このほかにも、岡谷市独自の取組として、国の対象世帯として夫婦とも34歳以下で世帯所得が340万未満という設定がありますが、夫婦とも39歳以下で世帯所得が420万円未満というように市の独自の施策として枠を広げている部分があります。 そういった部分が、岡谷市の特徴として、取組をしているというような状況でありまして、利用実績も国の施策だけでなく市の独自の施策も使っていただいて、移住につながっているというような成果もありますので、ご理解いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>85ページの医療体制について、少し数字が気になったので教えていただきたいです。 KPIの目標値が50%となっている医療体制の充実に満足する人の割合について、平成30年度が42.3%、令和2年度が44.1%、令和4年度が25%と急激に下がっております。 はじめの方が44%とかですので、KPIの目標値を50%としたと思います。</p>

	<p>この直近で25%まで下がったというのが、新型コロナウイルスのせいであれば問題はないと思いますけれども、岡谷市としても岡谷市民病院を充実させて、そこを中核としてどんどん進めているところだと思うのですが、急激にここまで下がった原因というのは何かということが、もしわかったら教えていただきたいです。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>こちら市民アンケートですので、私どもとすると、やはりコロナの影響が大きかったというように分析をしているところであります。</p>
	<p>前期の時に40%から目標が50%とありまして、コロナ禍で下がってきておりましたので、やはり前期と同様に目標は50%にしたいということで設定をしております。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>会長</p>	<p>今の質問と同じところについて、質問させていただきますけれども、成果指標が医療体制の充実に満足しているかという設問になってはいますが、岡谷市の求めている医療体制というのは一体何だろうと思います。まさか高度医療を求めているわけではないだろうし、三次医療でもないと思</p>
	<p>います。だから今の状況からして、質問が一次の初期医療ぐらいのもので満足しますかというようなことならわかりますが、そうでなくて医療全般に聞くというのは、わかりません。その辺いかがでしょうか。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>市民アンケートですので、どうとらえるかという部分があるかと思いますが、今現在では医療体制に満足しているかという聞き方をしておりますので、次回のアンケートの時には、そういった部分も含めて記載するべきではないかと思っております。</p>
	<p>今会長さんがおっしゃったように、岡谷市の場合には、3次とかいう状態ではありませんので、私どもとしては、基本的には一般的にすぐ診療を受けることができるかというような部分で、診療体制に満足しますかということを知りたいのですが、この問いでいくと、なかなかそこまで深く分析できていないと思っておりますので、アンケートを取る時にはそういうところも注釈を入れながら、実施してまいりたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>わかりました。そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>副会長（司会）</p>	<p>66、67ページの施策1-1 子ども・子育て支援の推進のところ</p>
	<p>です。もし私の考え方の方向性が違ってれば、それはそれで結構ですけども、ここの成果指標KPIについてです。私はぜひ、ここに出生数をKPIとして入れて欲しいし、入れるべきではないかと個人的には思っています。</p>
	<p>というのは、今、少子高齢社会、超少子超高齢社会で人口構造が非常に大きく変わってきているということが、様々な影響を社会におよぼして、いろいろな物事に課題が非常に増えてきているということだと思っていますけれども、その時に高齢化もそうですし、現状の生きている私たちの数を変えるということは、基本的にできることではないし、することではないと思っています。一番の大きい課題は、やはり生まれてくる子どもの数が増えないというより減っているということで、ここを何とかしなければいけないというのが、今一番の最大の課題であるし、一番の大きな目的</p>

	<p>なのではないかと思っています。</p> <p>もちろん社会増減を増やしていくということも大事で、やるべきだと思いますけれども、そこはもう現実の人の異動に過ぎないし、もっと嫌な言い方をすれば奪い合いに過ぎないと思っていますので、もちろん力を入れなければいけませんけれども、どこかが増えればどこかが減るということだと思っています。</p> <p>そうすると、やはり一番大事なのは、自然増までいなくても、自然減をいかに食い止めて、あわよくば、自然増の実現をしていくというところがやはり一番大きなことだと思っていますし、ここに書いてあるいろいろな取組も最終的な目的はすべてそこにつながってくると思います。</p> <p>いかに岡谷市で生まれる子どもの数を増やすのか、岡谷市で育ていく子どもを増やすのかというところが、やはり最終的な目的だと私は思っています。</p> <p>成果指標という言葉のとおり、そこが一番の成果ではないかと思っていますので、これは簡単ではないし、当然まだしばらくは減っていかざるを得ないということだと思いますけれども、そこをみんなで、市民全員で意識をしていく、そこが大事なんだというように思っていくということも含めて、出生数というのをはつきりとここに打ち出していったって、最低でも現状維持を目標にしていくとか、それもちよっと難しいのかもしれないですけど、ぜひそんな方向にしていただければと思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>岡本企画政策部長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>この出生数という部分は非常に難しい部分でありまして、私どもも出生数を成果指標にしたらどうかという議論をさせていただきましたけれども、やはりこういう人の数というところを目標にするという、数字で表していくというのはどうかということがありましたので、今回は成果指標に設定していないという状態であります。</p> <p>いずれにしても、先ほどの委員さんがおっしゃったように、まずは結婚していただくことが最初ということでありましてけれども、結婚していただく、次に子どもを産むというところも、これはまた個人の考え方でありまして、そうした時に、子育てしやすいという環境をPRして、岡谷市で多く子どもを産んで、育てていただけるように今取り組んでいるところであります。</p> <p>出生数については、今の段階では、成果指標に考えておりませんので、ご理解いただければと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>わかりました。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>70ページの上から3行目、地域の活動を牽引するリーダーの養成と書いていて、次ページにも活動を牽引するリーダーの育成とあります。</p> <p>この活動を牽引するリーダーというのは、どういうイメージで捉えればいいのか教えていただきたい。</p>
<p>矢崎社会福祉課長</p>	<p>来年度から新しく始めたいと考えています重層的支援体制整備事業という中に、地域づくりですとか、参加支援という地域でそれぞれの方が力を発揮していただいて、地域の中でみんなの力を少し高めながら、お互い支えましょうという活動を今までもしており、そういった活動をこれから</p>

	<p>より広めていきたいという考えもありまして、重層的支援体制整備の中に新しい機関を作って、そういったところの関係性をもう1回見直したり、地域に出向いて、地域の方々により多く活躍していただけるような支援をしていきたいと考えているところです。</p> <p>地域によって、それぞれ足りない部分や、こうしていきたいという部分に若干の地域差があるものですから、そういったものもお聞きしながら、地域サポートセンターやネットワーク会議の中で情報共有しながらというところも含めて、そういった活躍をされる方を少しでも広めていきたいと思っています。</p> <p>具体的にどなたがというところの情報がないので、我々としても社協ですとか、そういったところと情報共有し、より多くの方々を発見しながら、接触していきたいと考えています。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
会長	<p>基本構想の時にも申し上げましたが、今のところも地域という言葉が頻繁に出てきます。一体どこの範囲を示しているかということがなかなかわからないです。</p> <p>地域サポートセンターとお話される場合には、区が地域サポートセンターを担っているの、たぶん区のことを言っているのだろうと考えられますが、地域リーダーとなると、どこのリーダーを育成するんだということです。</p> <p>例えば、67ページの主な取組の3つ目、地域とともに支える子育て支援です。「遊び場の提供、地域を含めた親子交流の場の提供など」、「地域で支える環境づくり」、「関係機関や、地域との連携を強化し」といっばい「地域」が出てきます。</p> <p>地域サポートセンターは区だと理解しましたが、ここに出てくる「地域」は何ですか。</p> <p>また、一生懸命区で活動されている民生児童委員、厚生保護女性会、子ども会育成会、自分たちが組織化している市内の何とか委員などの言葉がこの計画の中に全然出てきません。</p> <p>その辺をどうとらえているのでしょうか。ここで言っている地域はどこを言っていますか。</p>
帯川健康福祉部長	<p>ありがとうございます。福祉の推進の部分では、例えば地域福祉計画ですとか高齢者福祉計画の部分で、一つの地域として基本的な区域となるのが、コミュニティの区域、区の実施区域なりをとらえておりまして、例えばこの地域サポートセンターが一つの括りとして、様々な活動をしていただいております。</p> <p>ですので、具体的にはこの区を一つの地域としてとらえておりますので、リーダーの育成という部分も含めて、例えばこの地域サポートセンターのセンター長さんあたりがリーダーとして、具体的にはいろんな部分で参画していただいて、こういった担い手の部分を含めて、大きなところではそういった括りでとらえております。</p> <p>福祉の部分につきましては、地域というのはコミュニティを一つの区域の範囲、一つの括りとしてとらえて取組をしているというところでありま</p>
会長	<p>わかりました。そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>

委員	<p>71ページに地域支えあい体制の充実というところがありまして、ここで出す話題であるかどうかちょっとわかりませんが、先ほども移住定住の話が出ていまして、下諏訪町だったと思いますが、移住者がその地域で定着しやすいように、その移住者同士で互助するというような移住者のネットワークといいますかコミュニティというのが出ておりました。</p> <p>そして、その方々をまた活用して、移住者をさらに呼び込むという活動を記事で読みました。</p> <p>もし、そういう移住者のコミュニティといいますか協議会といったものを組織できて、この地域にフィットさせる、あるいはそういった移住者を誘致するといった活動につながられればと思っております、やっていたらいいわけですが、もしそういうことがあればご検討いただきたいという提案です。</p>
岡本企画政策部長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私ども本格的に移住施策を始めたのが、ここ数年でして、移住者も何人か来ていただいています。そうした中で、移住者同士のコミュニケーションを取るということも少しやり始めていますので、また先進地等のことも参考にさせていただいて、取り組んでいきたいと思っております。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
会長	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>それでは、議事を進行させていただきます。</p> <p>(2) 基本目標：未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまちについて事務局より説明をお願いします。</p>
仲田企画課長	<p>(2) 基本目標：未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち 資料：第5次岡谷市総合計画後期基本計画(案) (資料に基づき、P87～P99まで説明)</p>
会長	<p>ただいまの説明について、質問・意見ありましたらお願いします。</p>
委員	<p>89ページ、学校教育の推進の主な取組の最後、教育環境の整備について、ここだけやるのがすごく広大なことばかりです。</p> <p>老朽化の計画改修、学校施設の適正化、義務教育学校の設立、こういうのは計画的にやられているということなので計画はあるものですが、それが岡谷市魅力と活力ある学校づくり推進プランに入っているということによろしいでしょうか。</p>
両角教育担当参事	<p>おっしゃるとおりでございます。ここに打ち出している大きな方針というのは、前期の計画でも同様な視点で記載をしておりました。</p> <p>そして、今、全国の小中学校でそれぞれ取り組んでいる部分もありますけれども、既存の校舎をなるべく長く使えるように大規模改修をして、維持していきましょうというような経過というところ、それから適正規模・適正配置についても、下に書いてあります魅力と活力ある学校づくり推進プランという個別計画の中に、さらに、ハード整備版ということで施設の内容に特化した計画を以前からも作っておりますので、その中で、具体的</p>

<p>委員</p>	<p>取組を位置付けているというような関係性であります。</p> <p>わかりました。もう少し質問を加えさせてください。 この推進プランが平成31年度から令和10年度と長くなっています、平成31年度に計画を策定されたのではないかと考えております。 そうすると、義務教育学校の設立というのは、たぶんこの後に出てきた話題ではないかと思えます。 その辺がどのようになっているのかということを確認させていただきたいです。</p>
<p>両角教育担当参事</p>	<p>こちらの推進プランの計画期間10年は総合計画とスパンを合わせております。 その中で、今日議論をいただいております基本計画と同様に、プランも前期計画5年ということで今年度が最終年度となり、今、この総合計画の視点を踏まえた後期の計画の策定をしておりますので、そちらにこの記述した内容が反映されるというような状況であります。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
<p>会長</p>	<p>参考のため、お聞かせください。 川岸の方で義務教育学校を進めていて、新聞を見ると、保育園も一緒にし、川岸小学校、西部中学校も一緒になるとのことです。 川岸小学校区でない岡谷区の皆さんの中には西部中学校に通う方もいると思います。そういう方はどうなるのでしょうか。</p>
<p>両角教育担当参事</p>	<p>以前、平成28年に岡谷小を統合しております。 それまでの通学区域というのは、岡谷区の皆さんは西部中学校にという通学になっておりましたが、学校統合にあわせて、岡谷区の皆さん、現在は、岡谷田中小と神明小学校が通学区に、そこで切り替わっておりますので、今は川岸地区の皆さんが川岸小学校、西部中学校というような地域の通学区域の設定になっています。</p>
<p>会長</p>	<p>わかりました。そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>88、89ページの学校教育の推進のところ質問が1点。 長期欠席の比率の推移が令和4年度極端に上がっているところですが、なぜというところがわかれば教えていただきたいです。 また、その他が妙に多いところが気になります。内訳がわからないからその他なのかもしれないですけど、わかる範囲があればその他の内訳もお聞かせいただきたいです。</p>
<p>両角教育担当参事</p>	<p>まず、件数が増えているということですが、これは岡谷市だけでなく全国同じような状況がありまして、実はこの3年間のコロナ禍により、一番の原因は不登校というところの区分になるかと思えますけれども、とにかく無気力みたいなそういう状態で、なかなか学校に足が向かなくなってしまう子どもたちが岡谷市でも増えていますし、全国で増えてしまっているということが要因です。国の分析でもコロナ禍の影響によりということが、多分にあるのだろうということが言われている状況であります。 それから、その他のところは、ここに少し小さく書いてありますが、いわゆる30日以上欠席をすると長期欠席というような分類になるので</p>

	<p>すが、国の仕分けで、病気を原因とするもの、それからいわゆる不登校、それから感染を回避するというのがコロナのところから新しい区分として創出されました。そして、それ以外の理由がその他になるものですから、不登校の原因っていろんな要因が重なっていることが多くありまして、例えば病気ではないけれども心配な部分とかがここにも入っているのかなというところもありますし、ちょっと具体的に何というところが申し上げられにくいところがあります。</p> <p>ただし、傾向としては増えてしまっているのは、現在の状況というところでは。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。この傾向はしばらく全国的に続くという、避けられないということでしょうか。</p>
<p>両角教育担当参事</p>	<p>まずは、義務教育でありますので、従来からとにかく学校に来ようよというのが教育の立ち位置からすると、当たり前感覚でありました。</p> <p>ただし、今、国の方でも、学校に来ることができない子どもたちがICTを使って自宅などで学ぶ、岡谷でも学んでいる子どももいます。</p> <p>それから、いわゆるフリースクールという部分も脚光を浴びていまして、そういうところで、学校には行かれないけれども、そういう環境の中で学びをつないでいくというような、いわゆる学びの多様性、多様化というところが、今、国でも切り替わってきておりますので、不登校を少なくしていきたいというのはありますが、その子に合った場所で、その子らしい成長や学びをしていくというようなところが、この施策の中の多様性というようなところに含まれているというようなところでは。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。この後ちょうど質問しようと思っていたところも教えていただいてありがとうございます。</p> <p>主な取組でも、教育DXという意味も含めて、コロナ禍を通してオンラインの授業というところも急速に取組が進んできたなということを実感しております。</p> <p>そういったところが、学校に行けないけれど教育としては落ちこぼれない、そんな子どもたちを作るところに役立てていただけたらと思っておりますので意見とさせていただきます。</p> <p>うちの子どもも中学生だったので、コロナ禍の中でオンライン授業をやったりしたんですけど、先生によって、使える使えないの差が大きくて、この先生は使いこなせないからオンライン授業はできませんみたいなことが起きていました。</p> <p>コロナ禍で急なこともあったのでそれは致し方ないというところも思いましたが、今後、そこをある意味当たり前にしていくのであれば、先生の教育は長野県の方になるのかと思っておりますが、そういったところも含めて、やはり子どもたちがしっかり育っていくためには先生たちがいろいろな部分の知識を持っていないといけないというところもあると思っております。</p> <p>そこも含めての教育ということで、市としてできることに取り組んでいただけたらと思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>98ページの施策6-2 文化・芸術の振興というところをパッと見ますと、どちらかというところハードのものがきちんと羅列されておりますけれども、ソフト面というものはいかがですか。</p>

	<p>まず質問として、主な取組の4つ目の部分に、文化芸術活動の促進と人材育成とありますけれども、今、岡谷市でそういった活動をどの程度できているかということ市は把握しておりますか。</p> <p>何が言いたいかというと、一生懸命ハードハードと言っても、やる人がいなければものが進まないと思います。</p> <p>そういった人たちを市で支援できるような体制が今現在あるのか。それから、そういった対象をきちんと市でとらえているかどうかということをお聞きしたいです。</p>
<p>白上教育部長</p>	<p>ありがとうございます。教育の関係、美術考古館になりますけれども、美術考古館は本当に市民の皆さんにしっかり活用していただくという美術館でありますので、市民の皆さんに活用をしていただくため、もちろん設備とかも整えながら、例えば市民の芸術団体とか美術団体に使っていただけるようにPRさせていただきましますし、実際にそういった団体の皆さんの展示会などに使っていただいている割合がとても高い美術館になっておりますので、そういったこともこれからまたさらに進めていきたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>私が言いたいのは、活動する岡谷市民が年寄りから若い人までどういう活動をされているかということ市をまず把握しているかどうかということ、それに対して施設を提供するということです。</p> <p>というのは、カノラホールで演奏を行うのに、大ホールは収容数が1,400人ですから、なかなか団体としては使えませんが、小ホールの収容数は300人なので使いやすいですが、もう取り合いです。</p> <p>今工事をやっている県の男女共同参画センターに収容数500人のホールがありましたが、施設とすると今の岡谷市にはそのくらいしかないです。</p> <p>そうすると意外に活動できる場所がないわけで、それはハードの部分ですが、そういったものを欲しがっている団体がどのくらいいて、どのくらいの市民が活動しているかという実態、いわゆるソフトの部分も市でとらえておいていただきたいというお願いです。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>同じく99ページの施策6-2 文化芸術の振興について、前回は質問させていただいたんですが、入場者数というのは変動が何によるものかわかりにくいと思います。</p> <p>コロナでどのくらい減ったのかわからなくて、令和4年度はコロナの影響があるわけで、令和5年度はちょっと減ってきたのかなと思います。</p> <p>目標値が前期とほぼ同じ値なので、コロナの影響は除いて、もともとの入場者数に合わせるという考えだとは思いますが、私の個人的な考えとしては、取組がどう影響したかというKPIにできないものかなと思います。</p> <p>それで、例えば、イルフ童画館は武井さんの立派な絵だと思っておりまして、ワークショップの開催とか周知とかこういう活動が本当に入場者数に影響しているのか、効果があるのか、ちょっとそこら辺はよくわかっておりません。</p> <p>個人的な話ですが、イルフ童画館の年間パスポートを毎年買っておりまして、年間4、5回行くのですが、今年のご存知のように、かがくいさんの絵ですごい人がいました。たぶん3、4ヶ月で3年分ぐらいの人が入っ</p>

<p>木下産業振興部長</p>	<p>ているはずで そうすると、それでK P I の何を測っているのだということになると思います。 例えば、ワークショップで何人連れて来るとか、そういう工夫があってもいいのではないかと思います。</p> <p>ご意見ありがとうございます。 委員さんおっしゃるK P I の表示なんですが、やはり5年間ということ で、この入場者数の中にはそのワークショップの参加者数も含まれている という形になります。 企画展は実施計画の方で、武井武雄先生の力、知名度、またその影響力 を持っているということで、作家の方、そういった方を計画的に呼んでま いります。 先ほどお話があった今年の企画展では、多くの方が全国からお見えにな ったということで、これは我々としても増やしていきたいと思っております ので、委員さんからいただいたご意見を参考に入場者数を増やしていく 取組というところで頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお 願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>どうもありがとうございます。こういう取組をぜひ増やしていただきたい です。 それとは別に少し余談で、入場者数を増やすということであれば、私の 個人的な考えですけれども、博物館、童画館、考古館の共通年間パスポ ートを作っていただくと、私必ず買います。そうすると、入場者数は3倍 になると思います。よろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>94、95ページの政策6 スポーツ・文化の振興のところですが、 現状と課題の冒頭のところに、「誰もが気軽にスポーツに参加できる環境 づくりを進める必要があります」とあって、スポーツも文化もイベントも そうなんですけれども、行政の箱づくりって上手で、本当に良いイベント やスポーツのコースとかがあって、私も最近はコロナが治まったので、イ ルフプラザとか、ほかにも参加したりしています。 良い箱はいっぱいあるのに参加者が最後の最後で集まらないというか、 もっと集まってもいいのではないかと、思ったより参加者が少ないと思 うことがあります。 せっかくの良いイベントやコースなのだから、箱を作った後の広報お かやとか市民新聞さんに載せていただくなどの周知まではやっていて、興 味を引くところまではいくけれども、最後参加しないみたいなのがある と思います。 なので、参加してもらおうための最後の最後の一押しというか、例えば 周りの人間を多く誘える人への共感を誘ったり、ITを活用してイベントの 通知を出したら自動で予定表に入るとか、何かこう最後の最後の一押し を、どうしたら参加してもらえるだろうみたいな、なぜなぜを繰り返して やっていくと、もっと人が集まったり参加してもらえたりするのではな いかなと思っております。 せっかくの良いイベントとか企画なのだから、本当に人が集まらないの はもったいないと思うことがいっぱいあるので、その最後の最後の一押し 、昔で言う職場とかが強制的に参加させたりみたいなのがあって、それが 良い</p>

	<p>かどうかわかりませんが、でもやはり、そういう人が人を呼ぶというか人を集めて参加者を増やしていくという取組というのは、いろんなことが考えられると思うので、そんなにお金を使わなくても頭を使えばいろいろできるのかなと思います。</p> <p>本当に良いイベントとかはもっと人が集まればいいのにとよく思うので、みんな参加して、そういうことを考える機会とかがあったらいいのではないかと思います。よろしくお願いします。要望です。</p>
<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>学校教育の推進の88ページのところに載っているのですが、 「いじめや不登校の問題に適切に対応するほか」と書いてあるのですが、不登校ですと、この子は学校に行っていないと目に見えてわかるのですが、いじめというのは目に見えないところで行われているわけです。</p> <p>その辺のところを市、または学校でどんな対応をしているのか。また、件数がどのくらいあるのか教えていただきたいと思います。</p>
<p>両角教育担当参事</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>いわゆる最初にいじめの定義について、これはもう子ども同士、自分が嫌な気持ちになったもの、例えば、やりとりの中で嫌な思いをした、不快な思いをしたという部分はいじめになります。それがまず一つです。</p> <p>それから、どのように認知しているかというのは、例えば、入口があります。子どもが、まさに担任の先生に相談をする場合もあります。家庭から連絡帳とか電話で来ることもあります。周りの友達が気にしてくれることもあります。そういういろんなところからの入口でいじめをとにかく認知していこうということで、今取り組んでおりまして、令和4年度は小学校の認知件数が20件、中学校は少し少なかったですが8件というところでありました。</p> <p>これはコロナ前よりは数字的には減少しております。何があったかという、実は学校でもマスクの生活、それから友達とくっついたりできなかったという3年間がありましたので、いざこざみたいな部分がなかったというところで、減少しているのかなと分析しております。</p>
<p>委員</p>	<p>いじめに対しての取組というのはどんなものか教えていただきたいと思います。</p>
<p>両角教育担当参事</p>	<p>市内の小中学校で大事にしているのが、まず、子どもたち自身がいじめは絶対許さないんだということで、学校の中で、子どもたち同士でいじめを無くしていこうという取組を毎年行っております。これは、子どものいじめの根絶子ども会議というものを夏休みに行うのですが、学校ごとにいじめを無くしていくには、自分たちでどうしたらいいかというような話し合いをしまして、毎年毎年その年のスローガンを定めて、学校で、子どもたち自身がいじめを無くしていく取組というものを進めております。</p> <p>それから、例えばいじめが認知された場合は、家庭とか、その友達同士、元の関係に戻るよというところで、これをチームで、学校の先生たちだけではなくて、市教委とかそういう関係の中で、とにかく早期に解決をしていくんだという取組を進めているという状況です。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>

<p>会長</p>	<p>そのほかに質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>以上で本日の会議事項は終了になります。 どうもありがとうございました。</p>
<p>副会長 (司会)</p>	<p>会長ありがとうございました。 それでは、全体を通して委員の皆様から何かありますでしょうか。</p> <p>(発言なし)</p> <p>そのほか、事務局から連絡事項等ありましたらお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず1点目、次回、第5回岡谷市基本構想審議会についてのご連絡です。 お手元に開催通知を配布させていただいております。 日時場所につきましては、令和5年11月21日(火)、9時30分から 今回と同じ9階大会議室で予定をしております。 審議箇所につきましては、基本目標 人が集い、にぎわいと活力あふれる まち、(計画案の101ページから118ページ)と、基本目標 安全・安 心で、自然環境と共生するまち(計画案の119ページから134ページ) までとなります。 恐れ入りますが、審議箇所につきましては、事前にお目通しをいただき ますようお願い申し上げます。 なお、ご報告いただいております出欠席に変更が生じた場合、お手数で すけれども、事務局までご連絡をお願いいたします。 2点目です。同じくお手元に、岡谷市基本構想審議会 質問・意見 連絡 票という用紙を2枚配布しております。 限られた時間の中、また他の委員さんのご意見等をお聞きし、新たに思 うところもあるかと思えます。当日発言できなかった質問・意見等があ りましたら、各回の審議会ごとに連絡票を作成しておりますので、こちらの 連絡票でご報告をいただければ幸いです。 提出につきましては、FAX、メールのほか、次回審議会のご出席の際 等にお持ちいただいても構いません。 3点目です。前回の第3回審議会の委員報酬の控除所得税領収書と会議 録を配布させていただいておりますので、ご確認をお願いいたします。 事務局からの連絡は以上でございます。</p>
<p>副会長 (司会)</p>	<p>ありがとうございました。今の連絡事項に関して委員の皆様から何かあ りますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今回お配りいただいたものは終了している過去のもので、次回審議会の 質問用紙がありませんがどうということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆様のお手元にあります質問・意見連絡票につきましては、お配りでき ていなかった11月1日の第3回の分と、今回の第4回の分ということで 2枚お配りしております。 また、次回の第5回の分につきましては、本日同様、会議時にお配りを して、当日発言できなかった内容等をこの連絡票でご提出いただくとい うものであります。</p>

	<p>事前に質問をいただいて、そちらにお答えをするというものではございませんのでよろしくお願いいたします。</p>
副会長（司会）	<p>ぜひ当日は、まず会議の中でご意見をいただいて、その時に十分ご意見できなかった部分は後からという形のもので、事前の質問票ではありませんので、今回はそのようにご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>事前に質問することはだめでしょうか。</p>
事務局	<p>事前にご質問等ある場合、事務局にご連絡をいただければ、担当にもお話をさせていただきますので、随時、ご連絡いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
副会長（司会）	<p>ありがとうございました。 そのほか、よろしいでしょうか。 それでは、閉会の挨拶を副会長お願いいたします。</p>
副会長	<p>それでは以上をもちまして、令和5年度第4回岡谷市基本構想審議会を閉会といたします。皆様、お疲れ様でした。</p>